

にしじんこうぼう
西陣工房だより

社会福祉法人 京都西陣福祉会
障害者多機能型事業所 西陣工房
〒603-8333 京都市北区大將軍東鷹司町 109-1
☎(075)462-9101 Fax(075)468-9122 mail info@nishijinkoubou.com



おごそかな雰囲気の国会議事堂中央広場 R6.9.25

がつ よてい
【10月の予定】

- 10月5日(土)ウクレレサークル 10時～12時
- 10月13日(日)ハンナリーズバスケット観戦(西京極) 13時～16時30分
- 10月20日(日)全国障害者総合スポーツ大会卓球バレー大会(佐賀県基山町)

らいげついこう よてい
【来月以降の予定】

- ◆ 11月2日(土)FUNAOKAスタンダード(船岡山公園)
- ◆ 令和7年3月2日(日)京都卓球バレー協会交流大会
- ◆ 令和7年4月29日(昭和の日)第1回西陣工房ウクレレコンサート(京都府民ホールアルティー)

●10月5日(土)ウクレレサークル 10時~12時

10月のウクレレサークルは来年4月のコンサートに向けて以前練習した曲をみんなで合わせて弾いていきます。各自でしっかり練習しておいてくださいね。



●10月13日(日)京都ハンナリーズ バスケット観戦 (京都市体育館)西陣工房13時集合 16時30分解散予定

プロバスケットボールの京都ハンナリーズの招待券を頂きました。13日(日)の対戦相手は群馬クレインサンダーズです。プロのバスケットボールを生で観戦して京都ハンナリーズを応援しましょう。西陣工房集合は13時です。昼食は食べてから来てくださいね。

●10月20日(日)全国障害者総合スポーツ大会(佐賀県)

18日(金)夕方から船で神戸港~大分港へ行き、1泊宿泊してから試合に臨みます。試合に参加する利用者には声をかけています。卓球バレーサークルに入っている利用者全員で参加出来れば良いのですが1チームしか試合に出られないのでそれぞれで応援をお願いします。優勝目指して頑張ります。

●11月2日(土)FUNAOKAスタンダード(船岡山公園)

西陣工房は模擬店と舞台発表を行います。模擬店はテント1面(幅5.4メートル)を確保し、今年は、きつねうどん、とり天、たこせん、おにぎり販売します。模擬店の時間は10時~14時、舞台発表は今年も最終の13時23分~15分間の予定です。開会は10時で、模擬店はそこからスタートしますので西陣工房集合の利用者は9時、現地集合の利用者は9時半集合とします。また舞台練習は12時半から行います。演奏曲目は、翼をください、里の秋、もみじ、琵琶湖周航の歌を演奏します。船岡山公園へは西陣工房に集合して一緒に行く人と、現地集合できる人で参加確認をとります確認表に記載願います。昼食は模擬店で提供するきつねうどんを用意します。必要な人は確認表に書いて提出してください。

保護者の方もたくさんのお手伝いをお願いいたします。参加確認表に記載をお願いいたします。

【先月のできごと】

●9月7日(土)ウクレレサークル 10時~12時

●9月21日(土)西陣工房設立20周年を祝う会 (西陣工房)

●9月23日(月)~25日(水)西陣工房20周年記念研修旅行(東京)利用者19名参加

●9月29日(日)京都府民総合体育大会 卓球バレーの部(京都市障がい者教養文化体育会館)

●9月23日(月)~25日(水)西陣工房20周年記念研修旅行(東京)利用者19名参加

研修旅行は11時過ぎの夜行バスでの出発となりました。慣れないシートではなかなか寝付けず、寝不足から体調を崩すのでは?と心配をしていましたが、開園前のディズニーランドでの利用者の様子は嬉しさで話が尽きず、朝食もいつもになく早いスピードで胃袋に詰め込む姿に、私の心配も吹き飛びました。気温24℃と涼しく平日ということもありアトラクションも、10分~20分待ちで乗ることができました。皆さんとても生き生きとして5時までアトラクションや買い物、パレードなどを見て楽しみました。

翌日は21名で地下鉄(東京メトロ)を乗り継ぎ移動しましたが、手帳を提示してハンコをもらう障害者割引の手続きが大変でした。もっとスムーズに利用できるシステムにならないものかと思いました。今回の研修の目的である国会議事堂の見学は、祝う会に来ていただいた福山哲郎さんの御配慮で参議院議員食堂で食事を頂く事が出来ました。

こっかいぎじどう たいしやう ねん ちゃつこう しょうわ ねんかんせい ふる たてもの
国会議事堂は大正9年に着工、昭和11年完成の古い建物です
しょくどう たか てんじやう とも かべ てんじやう つうろ
が、食堂は5mの高い天井にシャンデリアが灯り壁や天井、通路に
だいらせき しょう ごうか たてもの
大理石などを使用した豪華な建物でした。

ふくやまぎいん はなし せき こっかい なに わ
福山議員のお話の席では 国会は何をしているところかを分かりや
おし めい りようしゃ じしん かんが も
すく教えていただき、そのあと6名の利用者が、自身の考えを持って
しつもん しつもん へんじ おも でふか たいへんきちやう
質問し、「いい質問ですね！」と返事をいただき思い出深い大変貴重な
たいけん
体験となりました。

さいきん がしつゆく さんか ひと ひと
最近の合宿やリクレーションでは、参加する人、しない人がはっきり
わか にかやくか げんじやう たいおう こんご
分かれており、2極化してきている現状にどう対応していくかが今後の
かだい おも きちやう きかい でき おお りようしゃ
課題になると思います。貴重な機会ですので出来るだけ多くの利用者
さんか
に参加してほしいですね。(さつき)



東京スカイツリー前にて R6.9.25

●9月21日(土)西陣工房設立20周年を祝う会 (西陣工房)

がつ にち たけうちきやうとふくしちやう にんちか らいひん まね にしじんこうぼうかいせつ ねん いわ かい せいだい かいさい
9月21日、竹内京都副市長はじめ 20人近い来賓をお招きして西陣工房開設20周年を祝う会が盛大に開催されまし
た。

ねん せいど か りようしゃ ふ さぎやう こうどか たてもの ひろ あたら でい ひと ふ うりあげ
この 20年、制度が変わり、利用者が増え、作業が高度化し、建物が広く新しくなり、出入りする人が増え、売上
ふ よ なか にんちど ちゆうもくど たか かいせつじ み ゆめ つぎつぎ げんじつ
が増え、そして世の中の認知度・注目度が高まり、開設時に見ていた夢が次々と現実のものとなりました。

いま しょうがいしゃ でんとうさんぎやう じゆうじ しごと おこ ぎじゆつ ひ びちくせき しょうらいりつぱ
今や、障害者が伝統産業に従事してやりがいのある仕事を行い、その技術を日々蓄積することで将来立派な
こうけいしや でんとうさんぎやう まも でんふくれんけい じっせん おお かのうせい ひ ぜんこく めず
後継者となって伝統産業を守る「伝福連携」を実践するトップランナーとして大きな可能性を秘めている全国でも珍
しい施設として注目を浴びるようになりました。竹内副市長、福山府身連会長、水田北区社協会長、小平西陣織
こうぎやうくみあいりじちやう ぬまたにしじんせいけいどうぎやうくみあいりじちやう ひらいほごしゃかいちやう おお きたい こ あた
工業組合理事長、沼田西陣整経同業組合理事長、そして平井保護者会会長からの大きな期待を込めた温かい
あいさつ つづ ねんかん できごと ぶんていど ぎょうしゆく ゆうし
ご挨拶に続き、20年間の出来事を 20分程度に凝縮したスライドをウクレレサークル有志のBGM(パッフェルベル
の じやうえい す ま ねんまえ わか
のカノン)に乗せて上映しました。過ぎてみればあっという間でしたが、20年前はみんな若かった。

ねんかん いとぐ しごと にしじんせいけいどうぎやうくみあい くみあいん かげ じしゆせいひん はんばい
20年間、糸繰りの仕事をいただけたのは西陣整経同業組合の組合員のお蔭、たくさんの自主製品の販売がで
きたのは京都ほっとはあとセンターのお店のお蔭、そして卓球バレーでチームワークを鍛えることができたのは
きやうと たつきやう きやうかい しあい かいさい かげ もっと せ わ だんたい
京都卓球バレー協会がいろいろな試合を開催してくれたお蔭。こういふことで、最もお世話になったこの 3団体
かんしゃじやう わた
に感謝状をお渡ししました。

さいご きねんえんそう ほごしゃかいゆうし うた
最後に記念演奏としてウクレレサークルによる「もみじ」、保護者会有志による「いのちの歌」、グループホーム
りようしゃ りようしゃゆうし うた
利用者のベルと利用者有志の歌による「アメイジンググレイス」、そしてウクレレサークルで「365日の紙飛行機」を
えんそう かい しゆうりやう
演奏してなごやかに会は終了しました。

にしじんこうぼう しゆうねん ふさわ がぞくてき てづく かん たの かい かん ねんかん なに
まさに西陣工房の 20周年に相応しい、家族的で手作り感あふれる楽しい会でした。これに関しては 20年間、何
か おも こんご りようしゃ えんりよな おとな しどう きやうか い おも
も変わっていないように思います。今後も利用者には遠慮無く、大人になるための指導を強化して行きたいと思
か かわい
います。(河合)



利用者の演奏(祝う会にて) R6.9.21



保護者会有志による「いのちの歌」(祝う会にて)R6.9.21

糸繰り作業

9月より糸繰りの担当となりました畑です。利用者の皆さんが元気に気持ち良く働け、良いコミュニケーションが取れる糸繰り場を作っていく事に尽力していきたいと思っております。宜しくお願い致します。今回は糸繰り作業の流れを簡単にお話ししたいと思います。まずは糸繰りする為の”糸”を取り引き先の業者(整経屋)から受注する所から始まります。現在は20社ほどの業者と取引をさせて頂いており、新しい業者も増えてきている状況です。受注した”糸”は1総(かせ=スガ)から多いときは300~400総を一度に受注します。受注の際に”糸”の太さ、種類、色と1総の回転数(4000回(5,000m)、8000回(10,000m)など何回転=長さ)、枠に幾つの総を巻くのか、納期を業者と調整します。

確認後にそれらの情報を利用者が見る伝票に起票してホワイトボードに貼り出します。糸繰り担当の利用者は伝票を確認し、次にどの業者のどの”糸”を繰っていくのかを利用者同士と職員も交えてコミュニケーションを取りながら判断し”糸”を繰っていきます。似たような”糸”が別々の業者から同じタイミングで持ち込まれる事も多く、特に白色と黒色が多いのですが混じってしまうと大変な事になります。糸繰り担当の利用者もその辺りの事は良く理解されており、他の色の”糸”を間に挟むなど繰る順番を考えて段取りをしてくれます。



西陣最大規模の糸繰機

糸繰機で枠に巻かれた”糸”は糸口がまだ留められていませんので、そのままだと解けてしまいます。枠替え・糸留めを担当している利用者が繰り終えた枠を集め・糸留めしていきます。糸留めには反時計回りで留めるルールがありますので、間違わない様に1日に数百となる枠を1つずつ糸留めしていく事になります。根気のいる作業ですが、正しく留めておかないと業者に迷惑がかかってしまいます。糸留めされた枠は職員が綺麗に巻けているか検品し箱詰めして取引先の業者に納品をして完了となります。受注から納品まで1週間程度が基本ですが、なかには急ぎでお願いされる事もあります。そんな時は糸繰り場の全員が一致団結して段取り良く糸繰りをして納期に間に合わせられる様に頑張っています。



伝票を貼り付けるホワイトボード



画像で308枠あります。

今後も任事量は増加傾向になると予想されます。その為、糸繰りが出来る利用者の育成も必要になってきますので、取り組みを始めさせていただきます。次回にその辺りのお話しができればと思います。(畑)